



2011年3月期 決算説明会

2011年5月 18日

株式会社ハマキョウレックス

東京証券取引所市場第一部：9037



- I. 会社概要
- II. 2011年3月期 概況
- III. 2012年3月期 計画
- IV. 2011年3月期 決算実績
- V. 近物レックスの現況と今後の戦略

I . 会社概要

I-1. 経営理念



「物」に携わる者として、

「人と接するときは、**心**を込めて」

「仕事をするときは、**初心**を忘れず前向きに」

「物を扱うときは、**心**を込めて丁寧に」

「物を運ぶときは、**心**を込めて安全に」

「如何なるときにも感謝の**心**を大切に」

を基本テーマに取組んでおります。

I-2. 経営方針

物流の役割は駅伝でいえば最終ランナー、
地味ではあるが信頼された重要な存在。
当企業グループは信頼に応えて効率的な事業活動の
展開と継続的で質の高い成長を図り、
お客様第一、品質第一を基本に、企業としての
社会的責任を果たしてまいります。
また、短期的な収益にとらわれず、
長期的な視点に立った経営を行い、3PL物流における
質的内容の日本一を目指します。



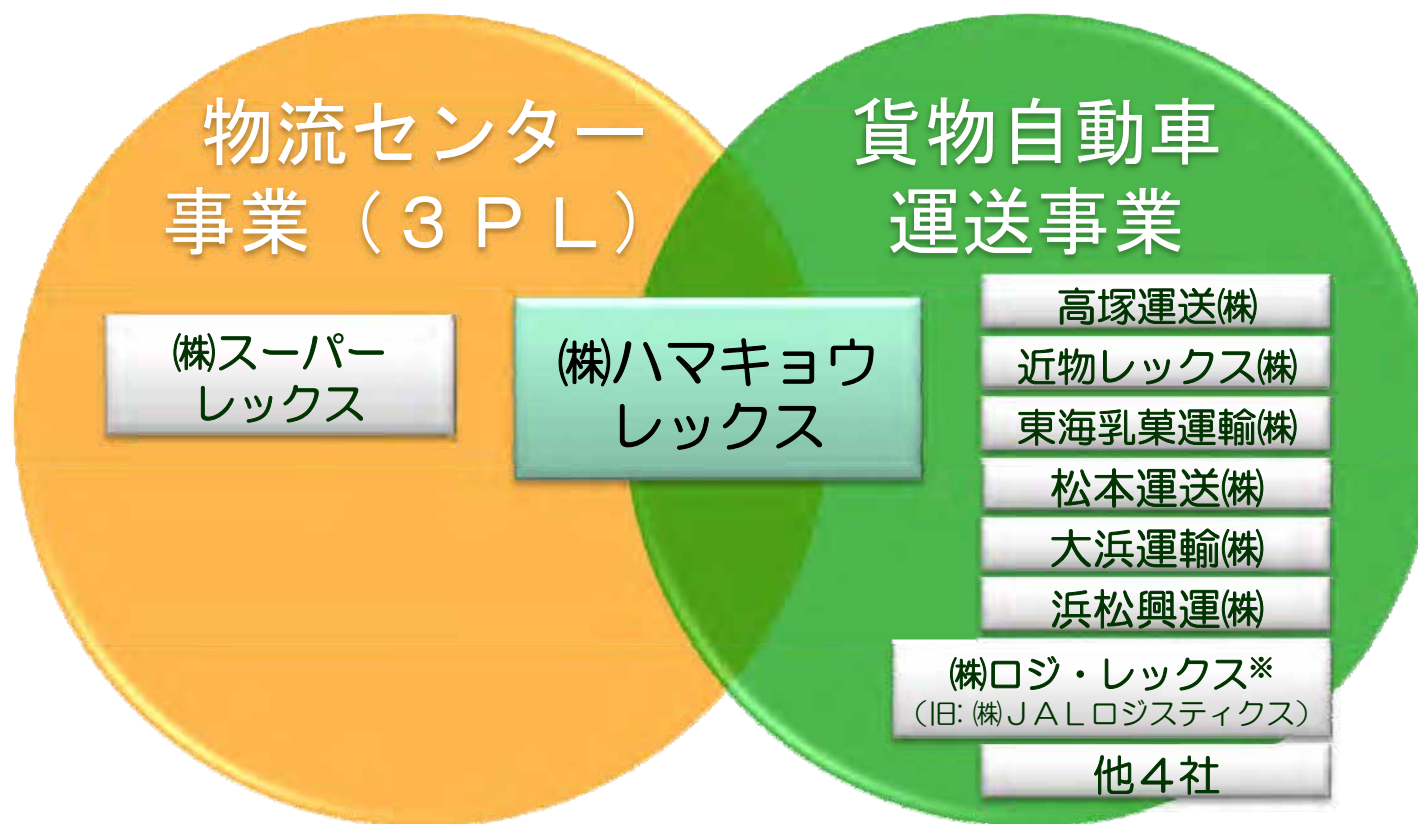
I-3. プロフィール

会社概要(2011年3月31日現在)

- 社 名 株式会社ハマキョウレックス
(HAMAKYOREX CO., LTD.)
- 設 立 昭和46年2月
- 資 本 金 40億4,505万円
- 決 算 期 3月31日
- 従 業 員 数 連結 4,114名、単体 641名
- 発 行 済 株 式 数 8,356,000株
- 株 主 数 3,606名
- 事 業 内 容 物流センター事業（3PL）、貨物自動車運送事業
- 連 結 子 会 社 12社
- 売 上 高
(2011年3月期) 連結 855億6,570万円
単体 315億7,687万円
- 経 常 利 益
(2011年3月期) 連結 60億4,564万円
単体 36億5,374万円

I-4. 事業紹介

当社グループは、
物流センター事業と貨物自動車運送事業を中心に
展開しております。



※2010年10月1日より関連会社となりました。
(11月2日にて(株)ロジ・レックスへ社名変更)



Ⅱ. 2011年3月期決算概況

Ⅱ-1. 23年3月期の業績

営業収益は、855億65百万円（前年同期比 +9.3%）

経常利益は、60億45百万円（前年同期比 +20.4%）の増収増益

項目	対前期比	対計画比 ※1	対前期比増減要因
営業収益 85,565百万円	+7,292百万円 (+9.3%)	+565百万円 (+0.7%)	・前期及び当期取得した連結子会社による増加 ・前期稼働センターの寄与 ・近物レックスの物量増による影響
営業利益 5,796百万円	+840百万円 (+17.0%)	△104百万円 (△1.8%)	・前期取得した連結子会社の増加 ・物流センター事業の寄与 ・近物レックスの改善および収益増加による寄与
経常利益 6,045百万円	+1,022百万円 (+20.4%)	+45百万円 (+0.8%)	・営業利益の増加 ・各種助成金収入の増加
当期純利益 2,836百万円	+439百万円 (+18.3%)	+36百万円 (+1.3%)	・経常利益の増加 ・震災による損失の計上 ・資産除去債務、株価低迷による評価損の計上等

※1 計画は、2011/1/31発表数値

Ⅱ-2. 震災による影響

被害を受けた拠点

- ・ 宮城県下（仙台、気仙沼、宮古）
- ・ 茨城県下（成田、麻生、つくば他）
- ・ その他（東京、神奈川、東北の一部）
- ・ 被害を受けた拠点は既に業務を開始しております。

特別損失の計上（153百万）

- ・ 建物関連の修繕及び除却（131百万 内訳：HMK 58百万/KBR 68百万/その他4百万）
- ・ 休業時の維持コスト（10百万 内訳：KBR 8百万円/その他 2百万）
- ・ その他（12百万 内訳：車両関連 7 百万/他 5 百万）

物量の状況

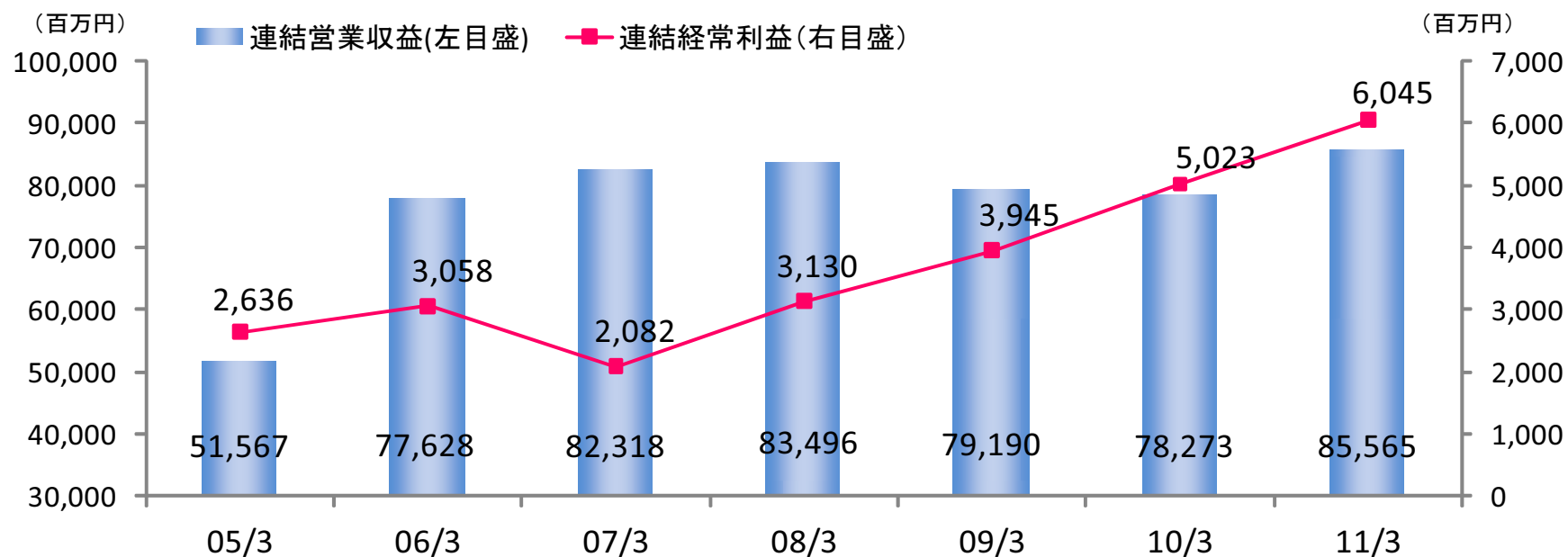
- ・ 東北での通常の物量は減少したものの、支援物資や食品関連等の物量が増加したこともあり、大きな減少までは至らなかった。
- ・ 4月以降、物量も徐々に回復基調がみられております。

Ⅱ-3. 業績推移

(百万円)

	連 結						個 別	
	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	増減額 (率)	2011/3	増減額 (率)
営業収益	82,318	83,496	79,190	78,273	85,565	+7,292 (+9.3%)	31,576	+1,910 (+6.4%)
営業利益	2,302	3,368	4,106	4,955	5,796	+840 (+17.0%)	3,485	+249 (+7.7%)
経常利益	2,082	3,130	3,945	5,023	6,045	+1,022 (+20.4%)	3,653	+327 (+9.9%)
当期純利益	1,036	1,495	1,674	2,396	2,836	+439 (+18.3%)	2,020	+84 (+4.4%)

Ⅱ-4. 収益構造



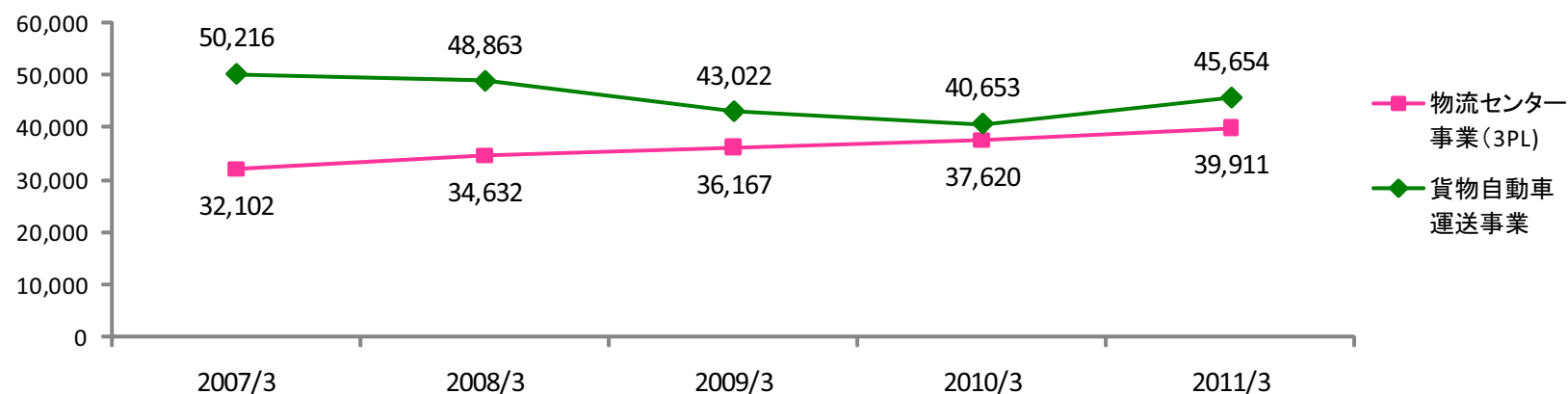
	連結業績	個別業績
営業収益	増収(過去最高)	19期連続(過去最高)
経常利益	4期連続(過去最高)	15期連続(過去最高)
当期純利益	4期連続(過去最高)	13期連続(過去最高)

Ⅱ-5. セグメント情報の推移

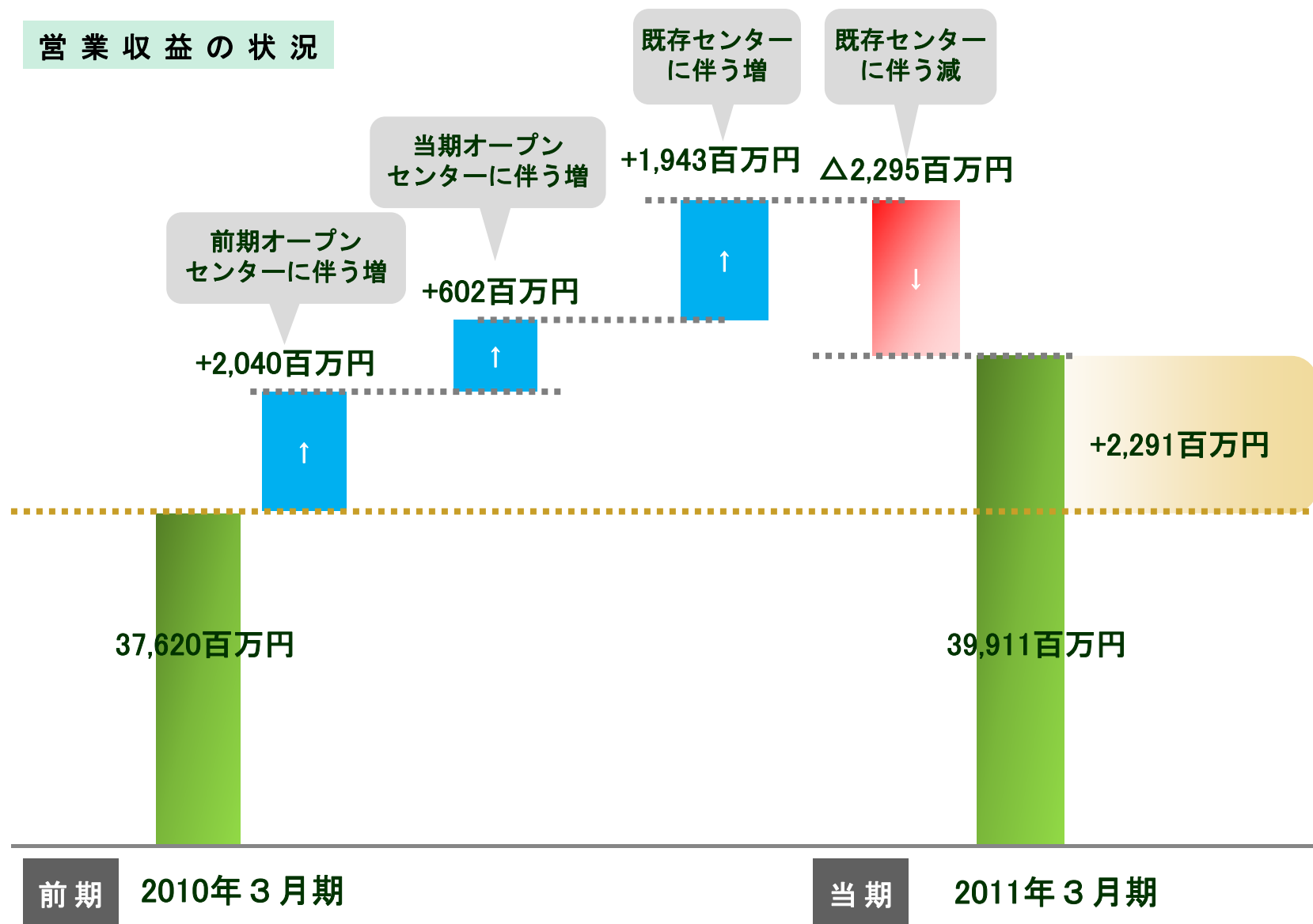
(連結: 百万円)

		2007/3 (構成比:%)	2008/3 (構成比:%)	2009/3 (構成比:%)	2010/3 (構成比:%)	2011/3 (構成比:%)	増減率 (%)
物流センター 事業(3PL)	営業収益	32,102 (+39.0%)	34,632 (+41.5%)	36,167 (+45.7%)	37,620 (+48.1%)	39,911 (+46.6%)	+2,291 (+6.1%)
	営業利益	2,829	3,148	3,861	4,284	4,625	+341
貨物自動車 運送事業	営業収益	50,216 (+61.0%)	48,863 (+58.5%)	43,022 (+54.3%)	40,653 (+51.9%)	45,654 (+53.4%)	+5,001 (+12.3%)
	営業利益	△526	219	243	669	1,166	+497

営業収益の推移



Ⅱ-6. 物流センター事業(3PL)の概況



Ⅱ-7. 物流センター事業の稼働状況

●新規受託及び稼働

取扱品目	① 前期受託 未稼働	② 当期 受託	③ 稼働		④ 当期 未稼働	①+②-③-④
			既存※1	新規※2		
食品	-	7社	2社	3社	2社	
繊維・アパレル	-	2社	1社	-	1社	
医薬・医療	1社	-	-	1社	-	
雑貨	1社	5社	2社	2社	2社	前期受託1社 当期受託1社
計	2社	14社	5社	6社	5社	

※1 既存の物流センター内に稼働した案件 / ※2 新規拠点にて稼働した案件

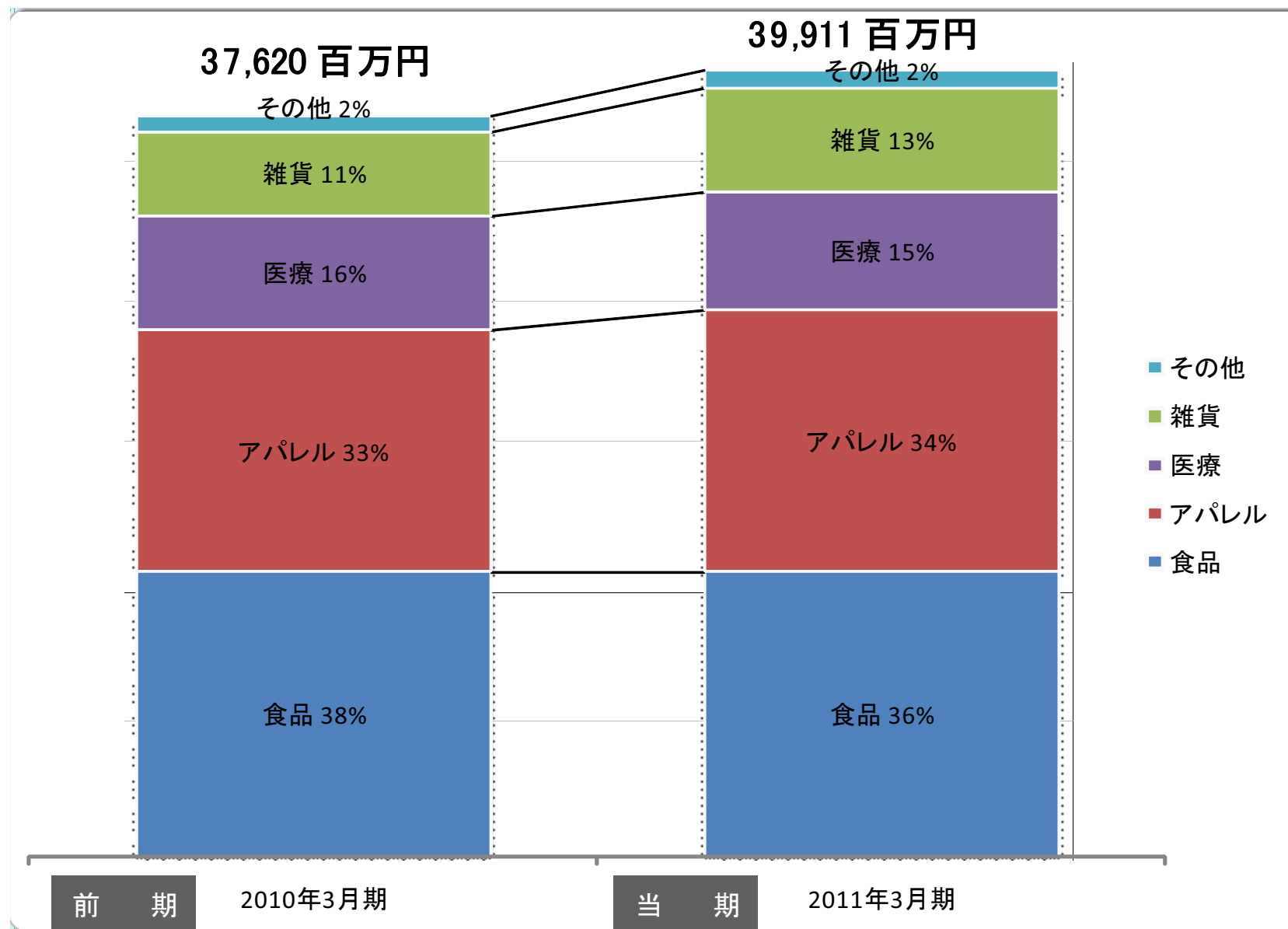


●物流センター数

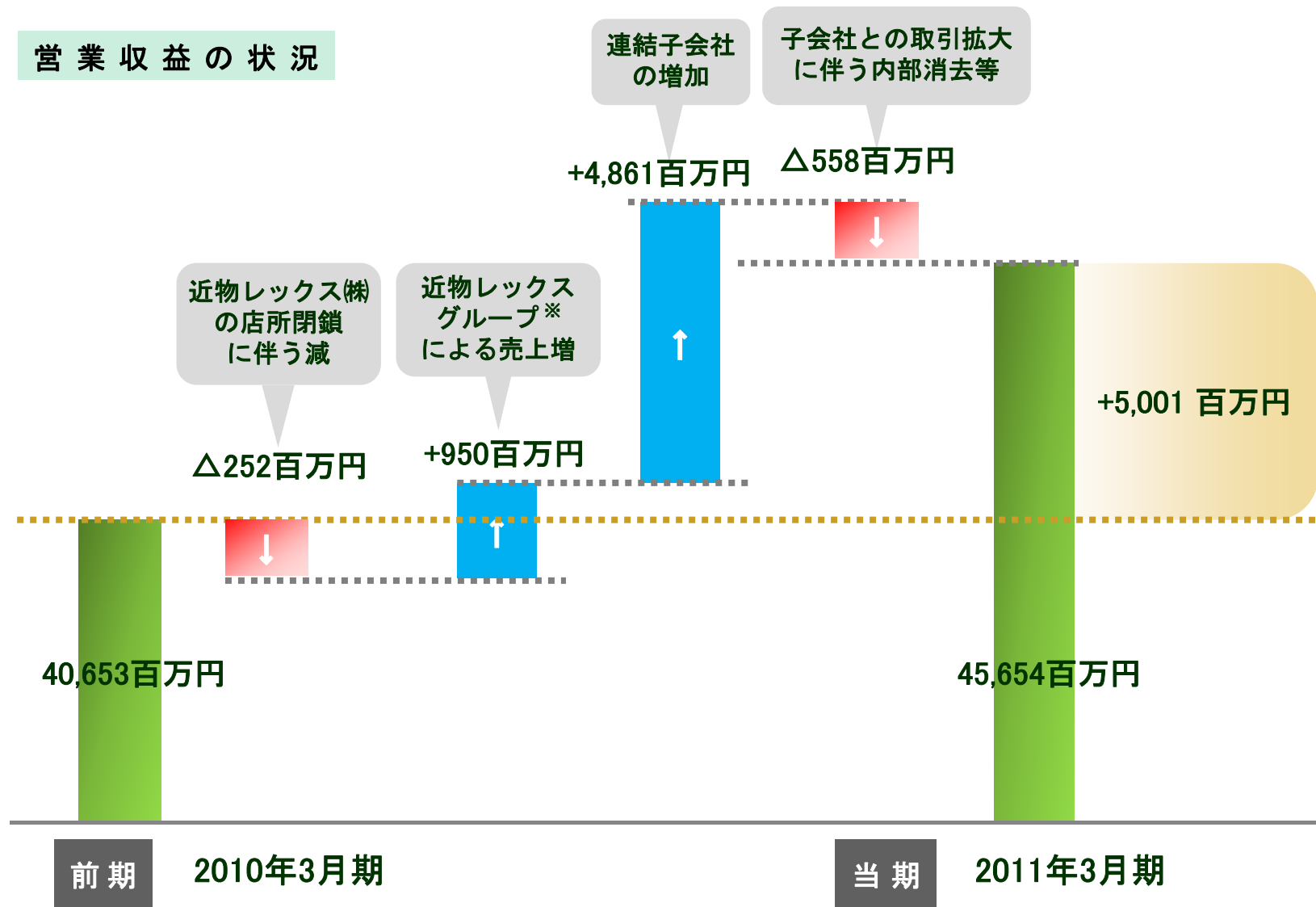
2011年3月31日現在

自社センター	20 (211,831㎡)
借用センター	43 (391,398㎡)
計	63 (前年度末比+3)

Ⅱ-8. 物流センター事業の取扱品目別売上高



Ⅱ-9. 貨物自動車運送事業の概況



※近物レックスグループとは、近物レックス(株)とその子会社3社です。(都運輸(株)、三重近物通運(株)、茨城県貨物自動車運送(株))

Ⅱ-10. 貨物自動車運送事業の概況 2



1. 近物レックスの状況

- 燃料費の増加(前期比+341百万円)
- 当社と近物レックスでの取引を拡大 (前期比 +254百万円)
- 今期近物レックスの設備を利用した物流センターを稼働
2件(4月京都、9月名古屋)

2. 輸送能力

- 車両台数 3,220 (自社車両:2,333、リース車両:887)
- 延積載屯数 19,516(トン)

3. M&A

- (株)ロジ・レックス(東京都大田区)
2010年10月に株式の72.0%を取得。
売上高(平成22年3月期)40億円
※2010年11月2日商号変更 (旧 (株)JALロジスティクス)
※23年3月期 第3四半期より連結



Ⅲ. 2012年3月期計画

Ⅲ-1. 2012年3月期 業績予想

(百万円)

	連結業績		個別業績	
	計画	前期比 (増加率)	計画	前期比 (増加率)
営業収益	90,000	+4,434 (+5.2%)	34,000	+2,423 (+7.7%)
営業利益	6,400	+603 (+10.4%)	3,950	+464 (+13.3%)
経常利益	6,350	+304 (+5.0%)	4,000	+346 (+9.5%)
当期純利益	3,200	+363 (+12.8%)	2,200	+179 (+8.9%)
設備計画	2,000	***	600	***

(平成23年5月12日公表数値)

(百万円)

セグメント別業績予想

		計画	前期比	(増加率)
物流センター事業	営業収益	42,500	+2,588	(+6.5%)
	営業利益	5,080	+454	(+9.8%)
貨物自動車 運送事業	営業収益	47,500	+1,845	(+4.0%)
	営業利益	1,320	+153	(+13.2%)

Ⅲ-2 . 経営指標

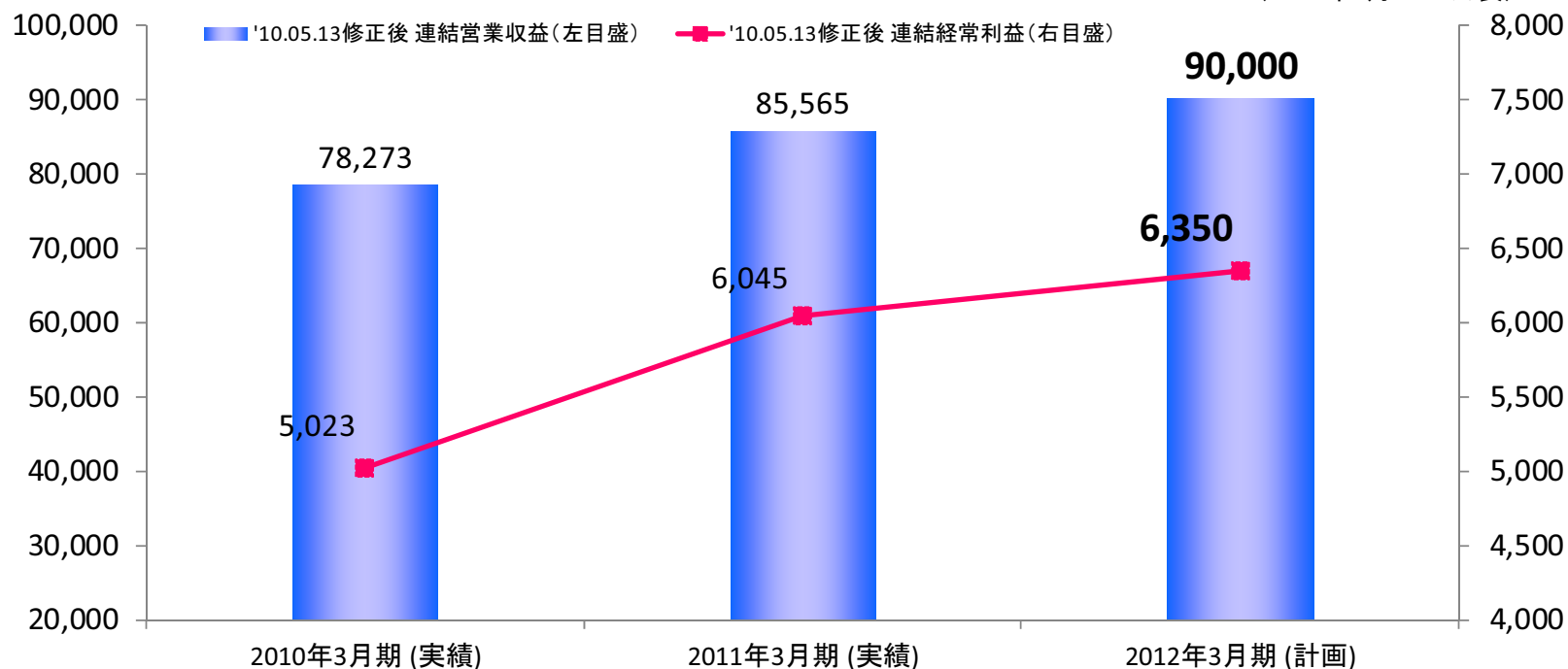
	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3予想
1株当たり当期純利益(円) 〔EPS〕	179.04	200.47	286.92	339.57	383.07
自己資本当期純利益率(%) 〔ROE〕	10.2	10.5	13.6	14.1	14.0
1株当たり純資産(円) 〔BPS〕	1,817.69	1,983.94	2,245.82	2,554.02	2,900.88
総資産経常利益率(%) 〔ROA〕	4.2	5.3	6.4	7.3	7.5
営業収益営業利益率(%)	4.0	5.2	6.3	6.8	7.1
営業収益経常利益率(%)	3.7	5.0	6.4	7.1	7.1
1株当たり配当金(円)	28	30	32	36	36

Ⅲ-3. 中期経営計画

(百万円)

	2010年3月期(実績)		2011年3月期(実績)		2012年3月期(計画)	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
営業収益	78,273	29,666	85,565	31,576	90,000	34,000
経常利益	5,023	3,325	6,045	3,653	6,350	4,000
当期純利益	2,396	1,935	2,836	2,020	3,200	2,200
1株当たり当期純利益	286.92	231.71	339.57	241.83	383.07	263.36
営業収益経常利益率	6.4%	11.2%	7.1%	11.6%	7.1%	11.8%
設備投資計画	16億円	6億円	55億	37億	20億	6億

(2011年5月12日公表)



Ⅲ-4. 今後の取り組み

1. 3PLを軸とする事業展開(拡大路線)

3PLを成長ドライバーとした戦略の継続

2. 3つのキーワードを中心とした取組みの継続

全員参加・日々収支・コミュニケーション⇒ 既存路線の踏襲・基本の徹底

3. 3PL事業と近物レックス㈱の融合

近物レックスの人・設備・配送網を活用した3PL事業を展開

→23年3月現在 5センター

4. 近物レックス㈱の経営改善

燃料の動向などの対外的な影響に左右されない、毎期安定した経常利益ベースでの黒字化をめざす

5. 新規顧客獲得に向けた取組み

物流センター事業での年間受託目標10社以上の新規受託を達成する

グループ全体での共同営業により、新規顧客獲得を目指す

6. 海外戦略への取組み

国内の顧客満足度向上のため、海外から国内までの一気通貫型物流を目指す

7. M&A

3PLを行っている会社のM&A案件を中心に前向きに検討を行う



IV. 2011年3月期 決算実績

IV-1. 四半期会計期間別（3ヶ月）の業績推移

（百万円）

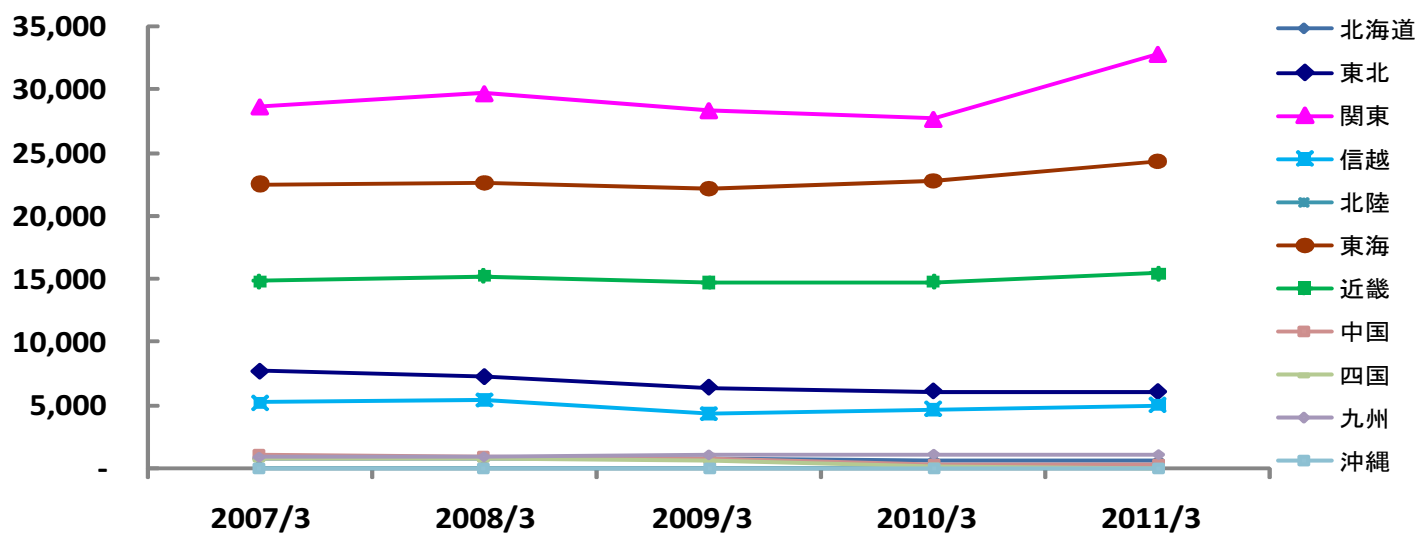
	1第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)
営業収益	20,516	+1,608 (+8.5%)	21,041	+1,853 (+9.7%)	23,425	+2,380 (+11.3%)	20,582	+1,449 (+7.6%)
営業利益	1,463	+302 (+26.1%)	1,492	+307 (+26.0%)	2,025	+277 (+15.8%)	813	△46 (△5.4%)
経常利益	1,501	+356 (+31.2%)	1,676	+555 (+49.6%)	2,045	+303 (+17.4%)	821	△193 (△19.1%)
当期利益	698	+189 (+37.3%)	799	+251 (+45.8%)	1,065	+137 (+14.8%)	273	△138 (△33.6%)

IV-2. セグメント別四半期会計期間(3ヶ月)の業績推移

		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)	当期実績	前期比 (増減率)
物流センター	営業収益	9,835	+484 (+5.2%)	9,990	+624 (+6.7%)	10,838	+645 (+6.3%)	9,247	+536 (+6.2%)
	営業利益	1,290	+95 (+8.0%)	1,103	+112 (+11.4%)	1,493	+124 (+9.1%)	739	+9 (+1.3%)
貨物自動車運送	営業収益	10,681	+1,123 (+11.8%)	11,051	+1,229 (+12.5%)	12,586	+1,735 (+16.0%)	11,335	+912 (+8.8%)
	営業利益	173	+207 (-)	388	+194 (+100.0%)	530	+151 (+39.9%)	73	△56 (△43.3%)

IV-3. 地域別連結営業収益の推移

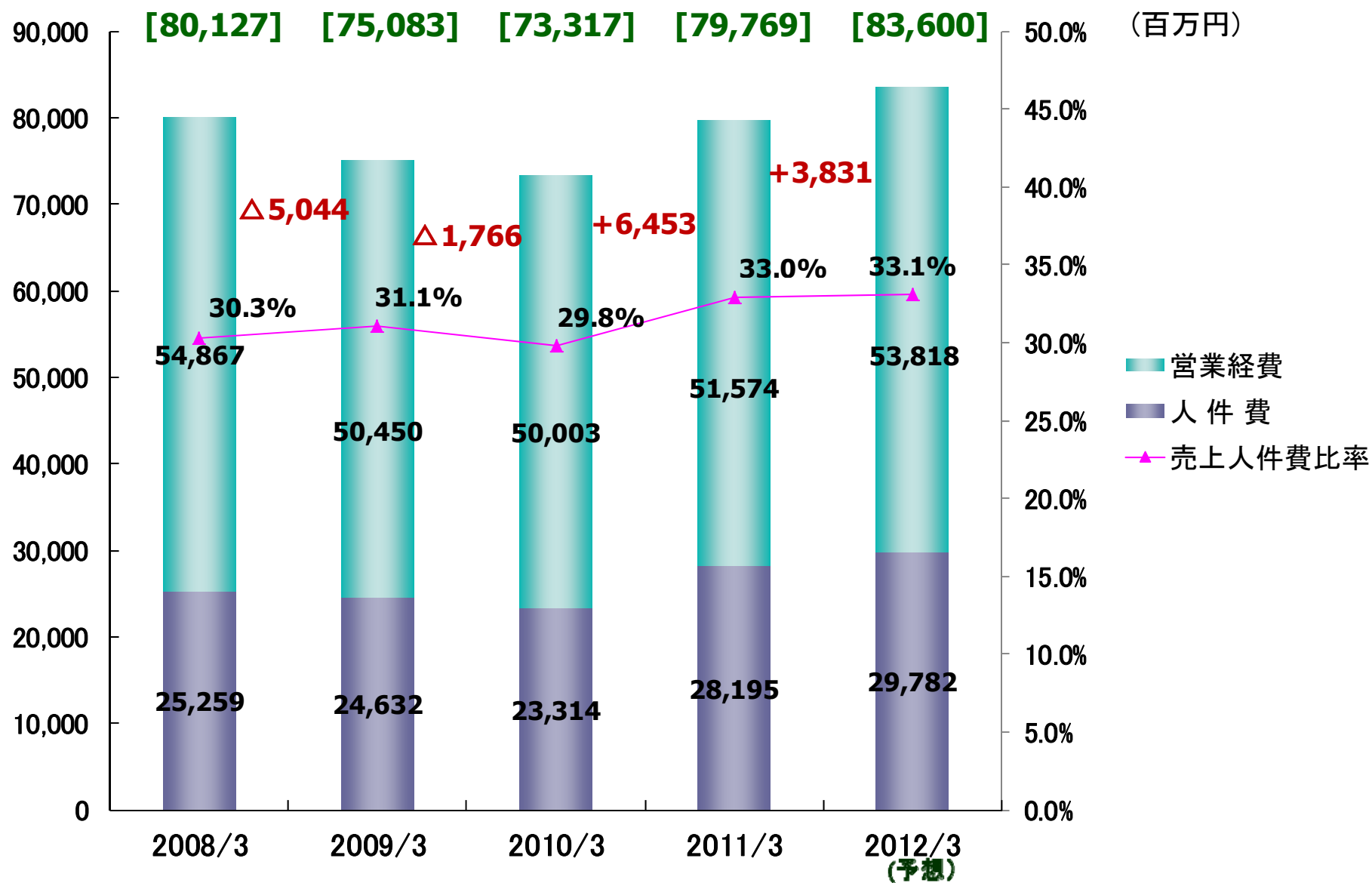
	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	(構成比)
北海道	765	761	779	635	611	(0.7%)
東北	7,679	7,241	6,401	6,097	6,041	(7.1%)
関東	28,682	29,715	28,381	27,690	32,805	(38.3%)
信越	5,202	5,411	4,343	4,686	5,019	(5.9%)
北陸	—	—	—	—	—	(0.0%)
東海	22,512	22,620	22,182	22,798	24,322	(28.4%)
近畿	14,800	15,247	14,736	14,793	15,426	(18.0%)
中国	1,071	856	721	270	247	(0.3%)
四国	755	749	578	175	—	(0.0%)
九州	847	890	1,064	1,128	1,091	(1.3%)
沖縄	—	—	—	—	—	(0.0%)
計	82,318	83,496	79,190	78,275	85,565	(100.0%)



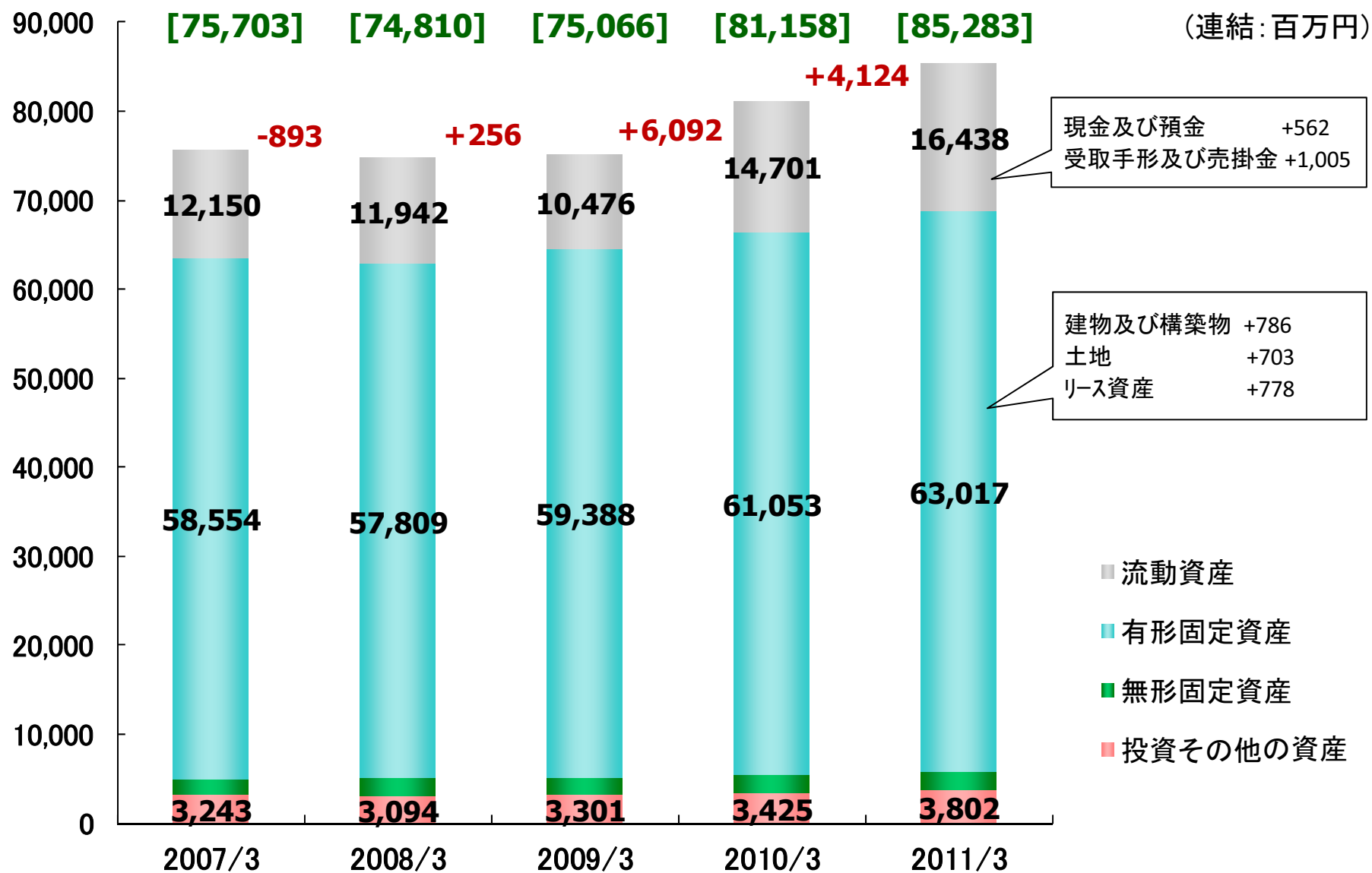
※グループ全体の営業収益

HAMAKYOREX

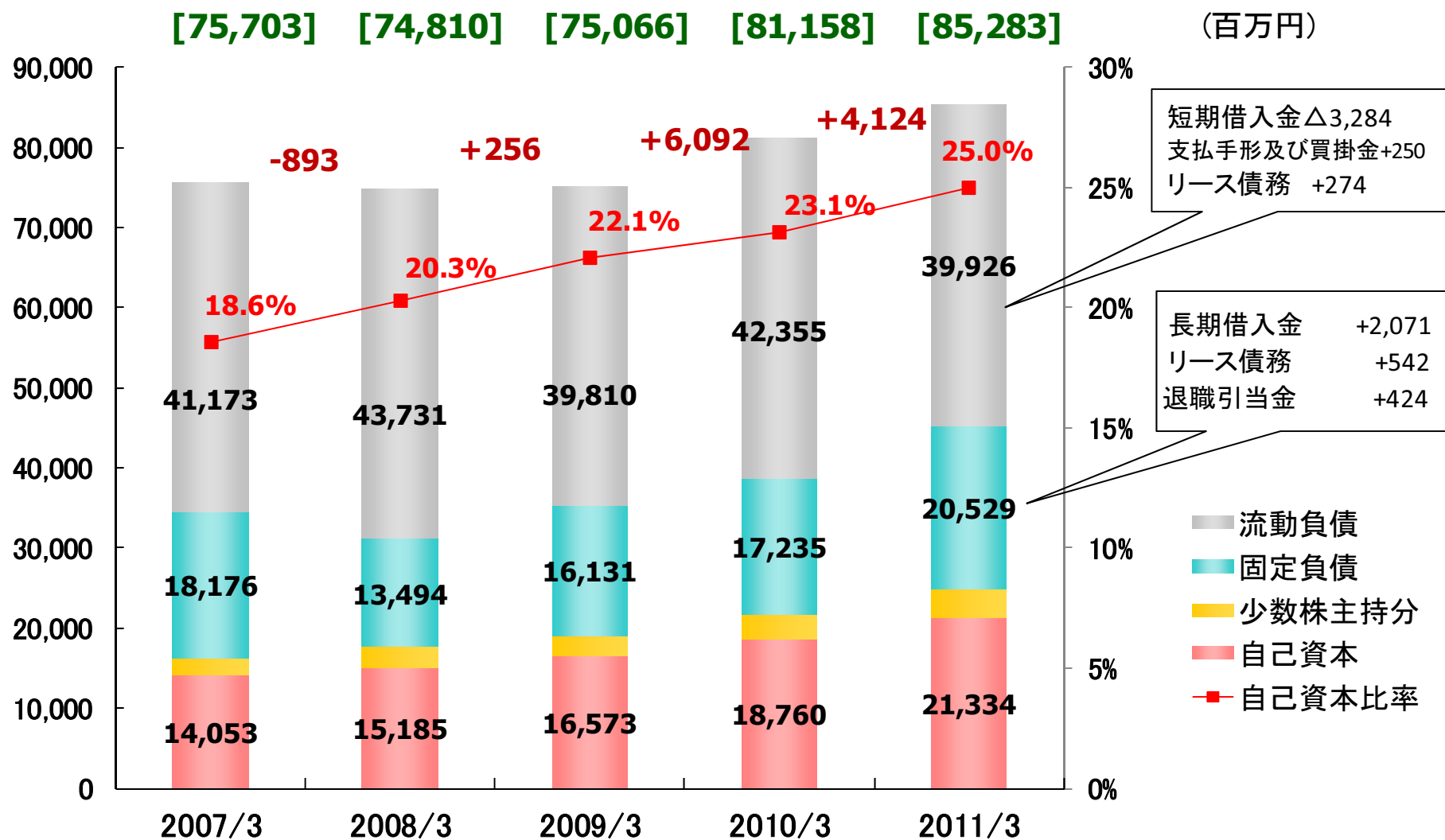
IV-4. 経費・人件費



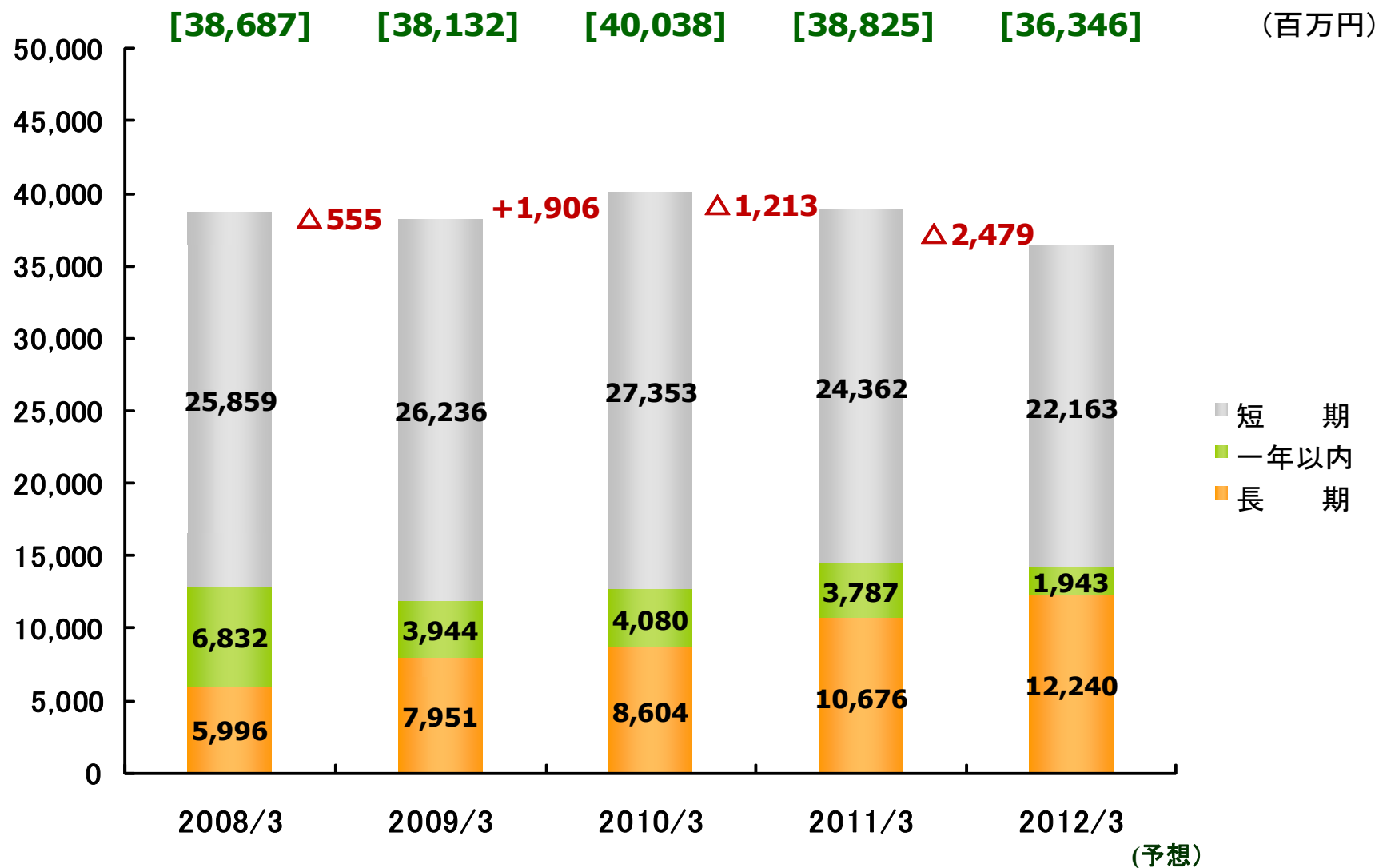
IV-5. 貸借対照表<資産>



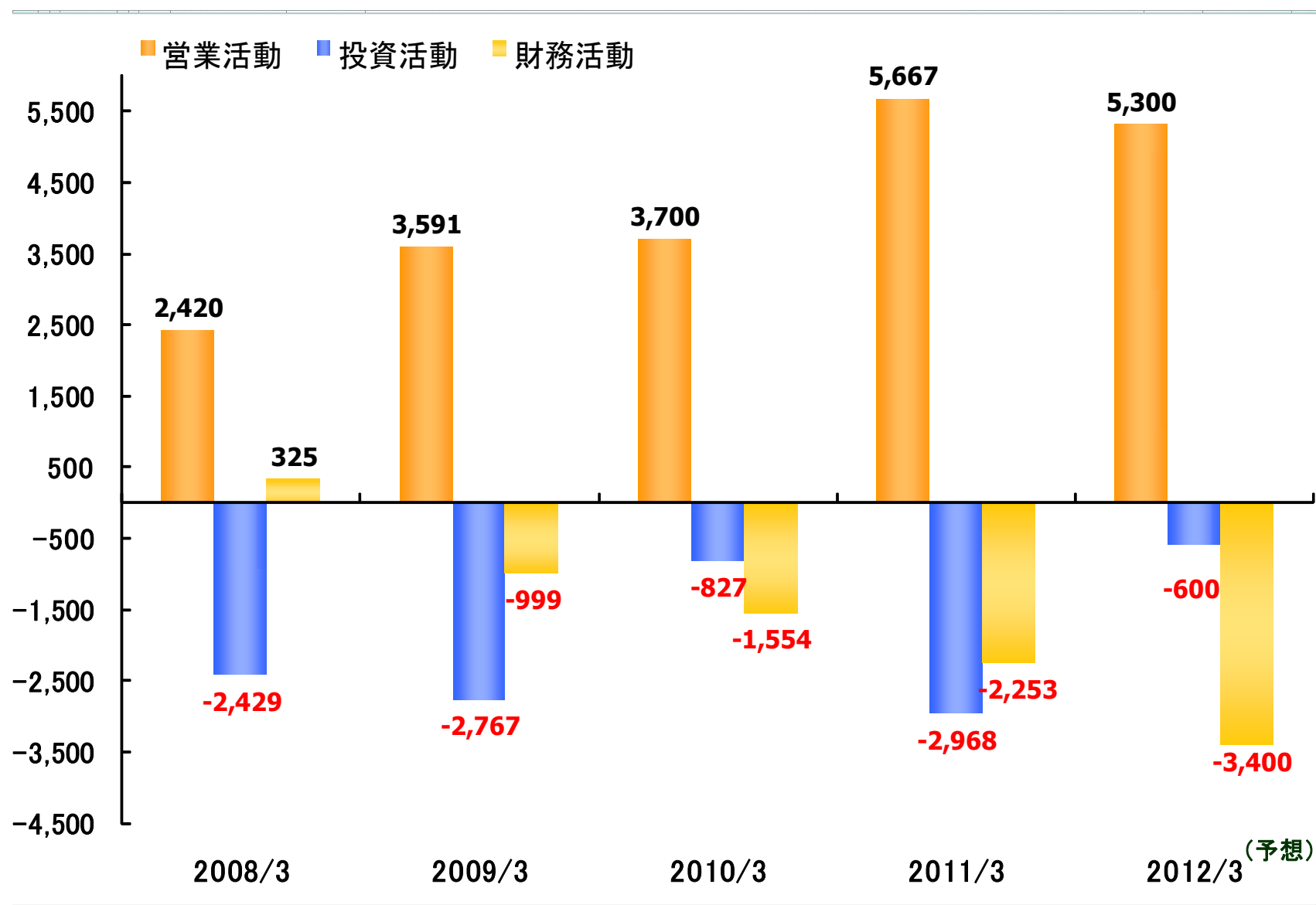
IV-6. 貸借対照表＜負債・純資産＞



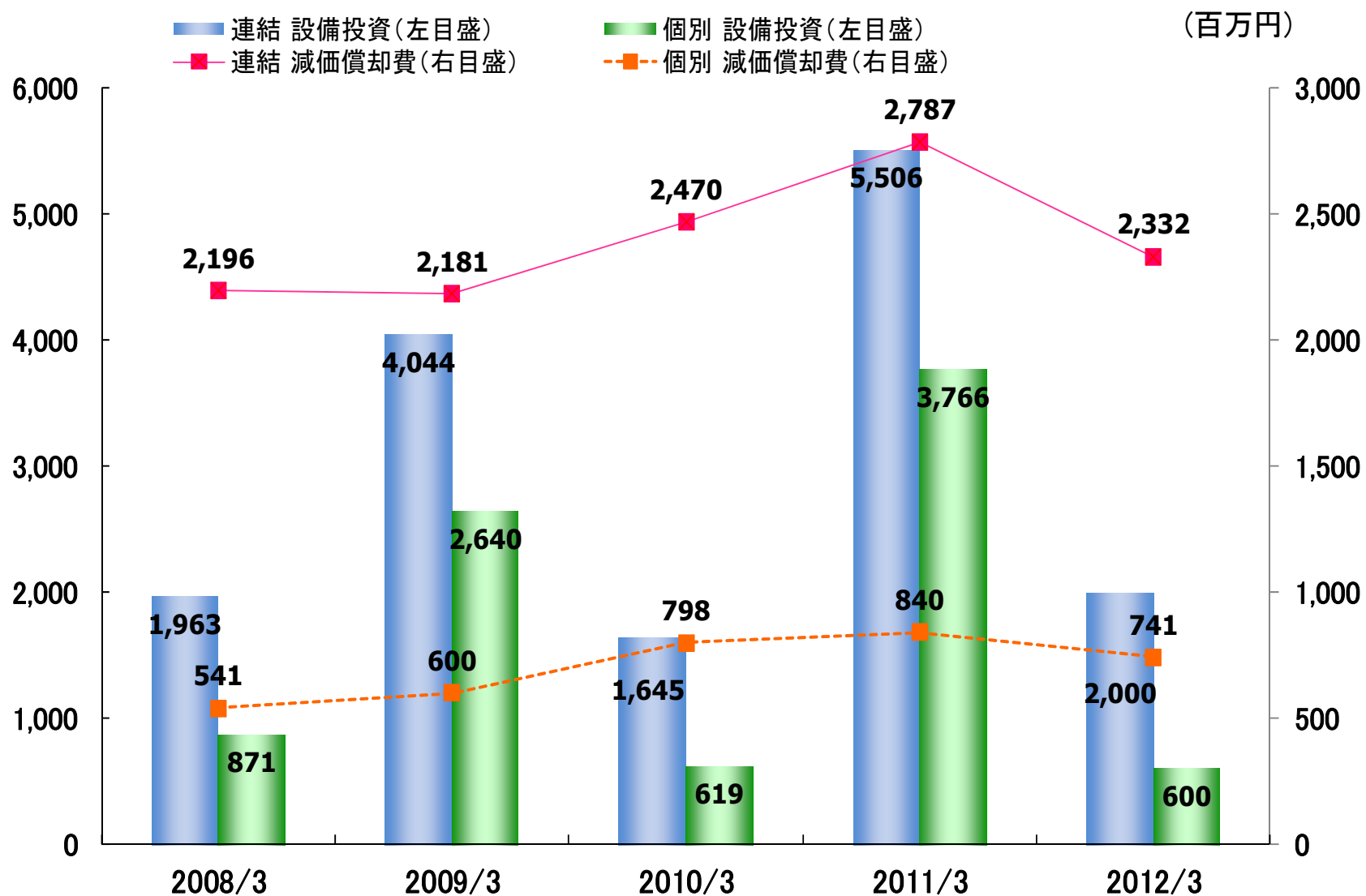
IV-7 . 有利子負債（借入金）



IV-8. キャッシュ・フロー



IV-9. 設備投資・減価償却費



V. 近物レックスの現況と 今後の戦略

V-1. 近物レックス 23年3月期の業績

(百万円)

	実 績			計 画	
	2010/3	2011/3	前期比 (増減率)	2011/3	計画比 (増減率)
営業収益	34,675	35,371	+ 695 (+ 2.0%)	35,262	+ 108 (+ 0.3%)
営業利益	177	253	+ 75 (+ 42.5%)	632	△ 379 (△ 60.0%)
経常利益	31	221	+ 189 (+ 594.1%)	259	△ 37 (△ 14.6%)

V-2. 近物レックスの取組

1. 営業強化：組織変更により5支社それぞれに営業専任者及び営業担当者を設置、営業強化を図る。
当社収入の要である積合収入増加。
前年比+565百万円(102.6%)
2. グループ間取引：関東・中部・関西で定例会議及び共同渉外実施
新規取引・既存拡大を図る。
12月・3月度に月額目標金額1億円を達成
3. 同業他社間取引：東北県下・三重県下・和歌山県下の配送を新たに受注。月額約6百万円の増収
4. 車輜修繕費削減：自社整備工場の稼動効率化実施。前年同期比約80百万円の外注費削減
5. 近物レックス：茨城県貨物自動車運送(株)の固定費圧縮を推進。
グループでの取組 ①幹線輸送便15便を当社に吸収。
②車輜管理及び燃料管理を当社主導での一元管理に変更

※これらの取組により、近物レックスグループ全社での増収増益の着地となる。

V-3. 近物レックス 今後の戦略

1. 震災エリア復興：東日本大震災で被害を受けた気仙沼営業所の修理・仙台事務所棟改築を実行して、震災で獲得した優位性を更に伸ばす
2. 営業強化：営業専任者の活動強化を図り、新規及び既存顧客の拡大を図る
3. 物流請負業務強化：顧客の物流請負業務の新規取組みと既存請負業務の効率化により、収入増に繋げていく
4. 利用運送管理強化：①他社委託エリアを自車に取込む事により、収入増及び利用運送費削減 目標額70百万円
②運送に関わる外注費を収入と連動した適切な費用となるように管理強化を図る。
利用運送ワークシートを活用して、利用運送収入比率38.47%以下(全社目標)にする。
5. 燃料費抑制：平成23年度第2Qより全幹線車輛対象にデジタルタコグラフを導入。走行時のエンジン回転数、速度管理徹底により、平均燃費を3%改善させる。
月間約△5百万円の削減効果、9ヶ月で△45百万円の効果を見込む

V-4. 近物レックス 業績予想

(百万円)

	実 績 2011/3	計 画	
		2012/3	前期比 (増減率)
営業収益	35,371	36,259	+887 (+2.5%)
営業利益	253	516	+262 (+103.7%)
経常利益	221	204	△ 17 (△ 7.8%)

VI. 参考情報

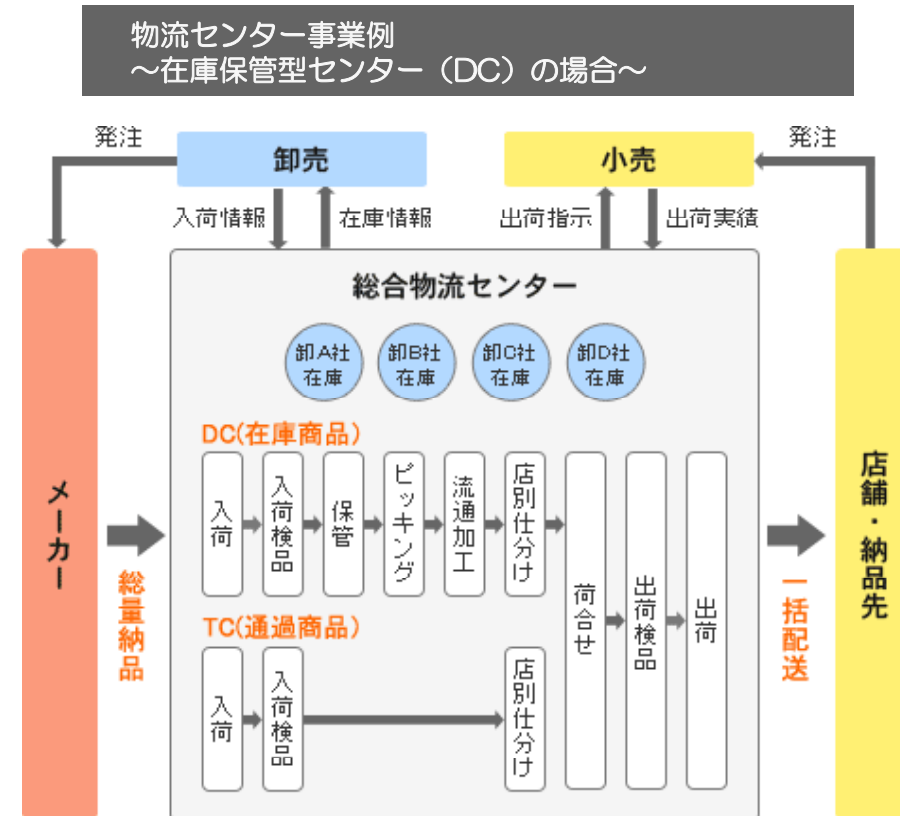
VI-1. 物流センター事業

当社は3PL(3rd Party Logistics)をおこなっております。

3PLとは、『荷主様に対して物流改革を提案し包括して物流業務を受託すること』であり、一般的には、『荷主様が物流業務を外部委託(アウトソーシング)すること』を指します。

3PLの主な目的は、「物流コスト削減」「戦略的ロジスティクスの構築による利益追求」です。

お客様にとって最適な物流通をご提案し、「物流を通じてお客様へ利益を還元する」ことが最も重要な役割であると考えております。



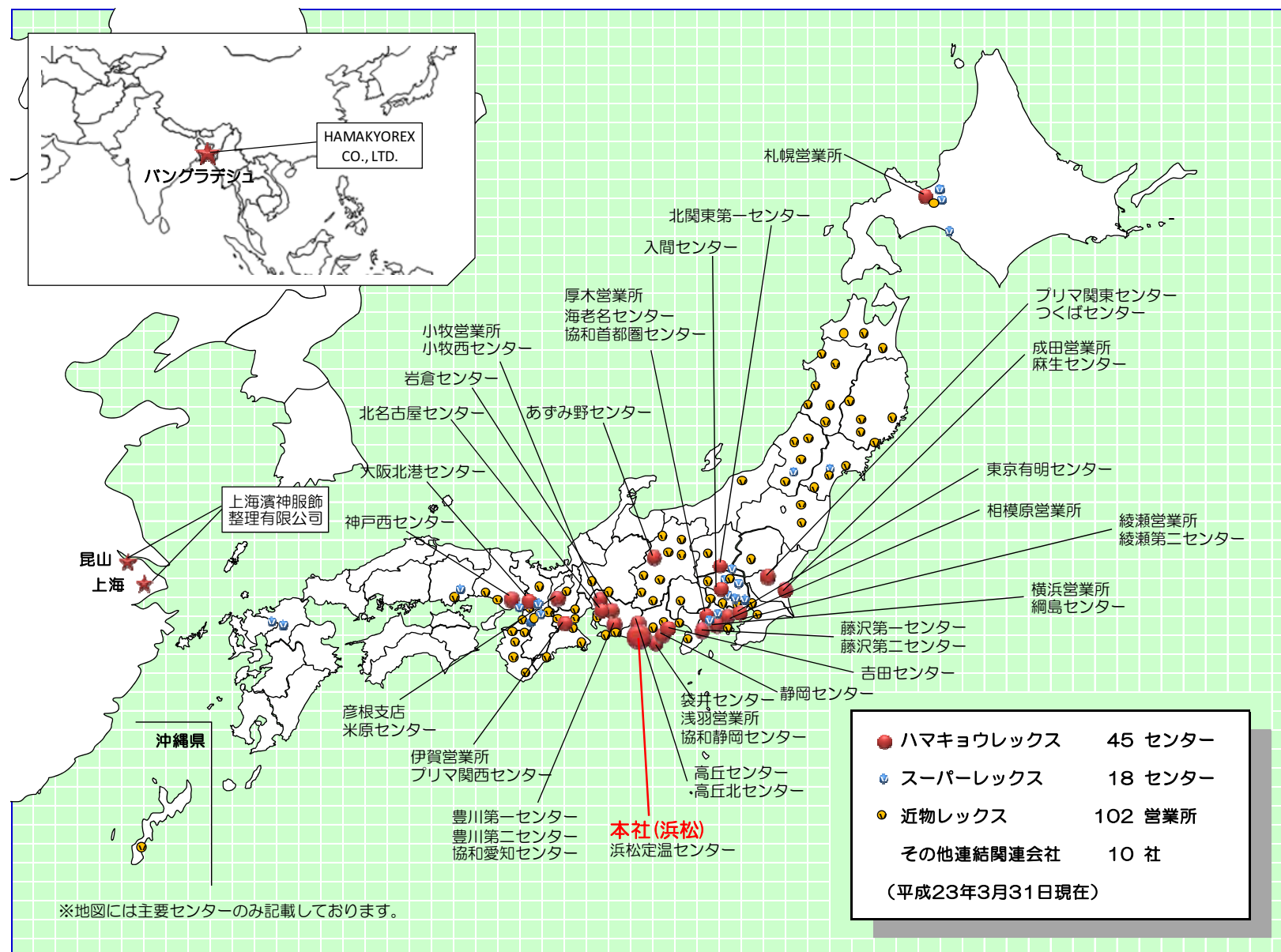
コスト競争力 現場力

当社は、「**コミュニケーション**」を重要視し、社員・パート・アルバイトを含めた「**全員参加**」による現場主導での自社運営を実施。「**日計収支※1**」・「**アコーディオン方式※2**」によるコスト削減を荷主様へ提案し、物流費削減を支援いたします。

※1 日計収支とは、各拠点で、日々決算を行い、その日1日の損益を把握する仕組みです。これにより、その日の問題点を翌日の改善につなげ、日々の無駄なコストを削減していくための当社の仕組みであります。

※2 アコーディオン方式とは、日々の物量(仕事量)にあわせ、最適(最小限)な人員投入を行う仕組みです。これにより日々最適な人員体制を敷くことで、余分なコスト発生を抑えることができます。

VI-3. 拠点紹介



IR関係問合せ先・担当者

- 常務取締役執行役員
管理本部長兼経営企画室長 日比野 稔
TEL 053-444-0054



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。